



RIHGA ROYAL HOTELS

2025年3月期第2四半期(中間期) 決算説明会

2024年11月29日

株式会社ロイヤルホテル

証券コード | 9713

agenda

株式会社ロイヤルホテル

2025年3月期第2四半期(中間期) 決算説明会



1. 2025年3月期第2四半期(中間期)
決算概要と業績予想
2. 成長投資および株主還元の拡充
3. 中期経営計画の進捗状況
4. Appendix



1. 2025年3月期第2四半期(中間期) 決算概要と業績予想

2025年3月期第2四半期(中間期) 決算説明会

株式会社ロイヤルホテル

2025年3月期第2四半期(中間期) 実績

|| インバウンド需要の増加はあったものの、期初予想ほどは伸ばせず予想売上高に届かなかったが、前年同期比では増収。

|| 一方で今後も増加する需要を見越し、先行投資的な支出は計画通りに実施。

単位：百万円

	2024/3期 中間期	2025/3期 中間期		期初予想比	
		期初予想	実績	増減額	増減率(%)
売上高	9,435	10,600	10,073	△526	△5.0
営業利益	△35	0	△339	△339	—
経常利益	△7	△200	△308	△108	—
親会社株主に帰属する 中間純利益	△80	△300	△473	△173	—

2025年3月期第2四半期(中間期) 連結損益計算書

|| 国内外の需要増加により売上高は前年同期比増収。

|| 今後も需要増加が見込まれ、また当社業績は下期偏重型で挽回が見込まれるため、先行投資的な支出は計画通りに実施。

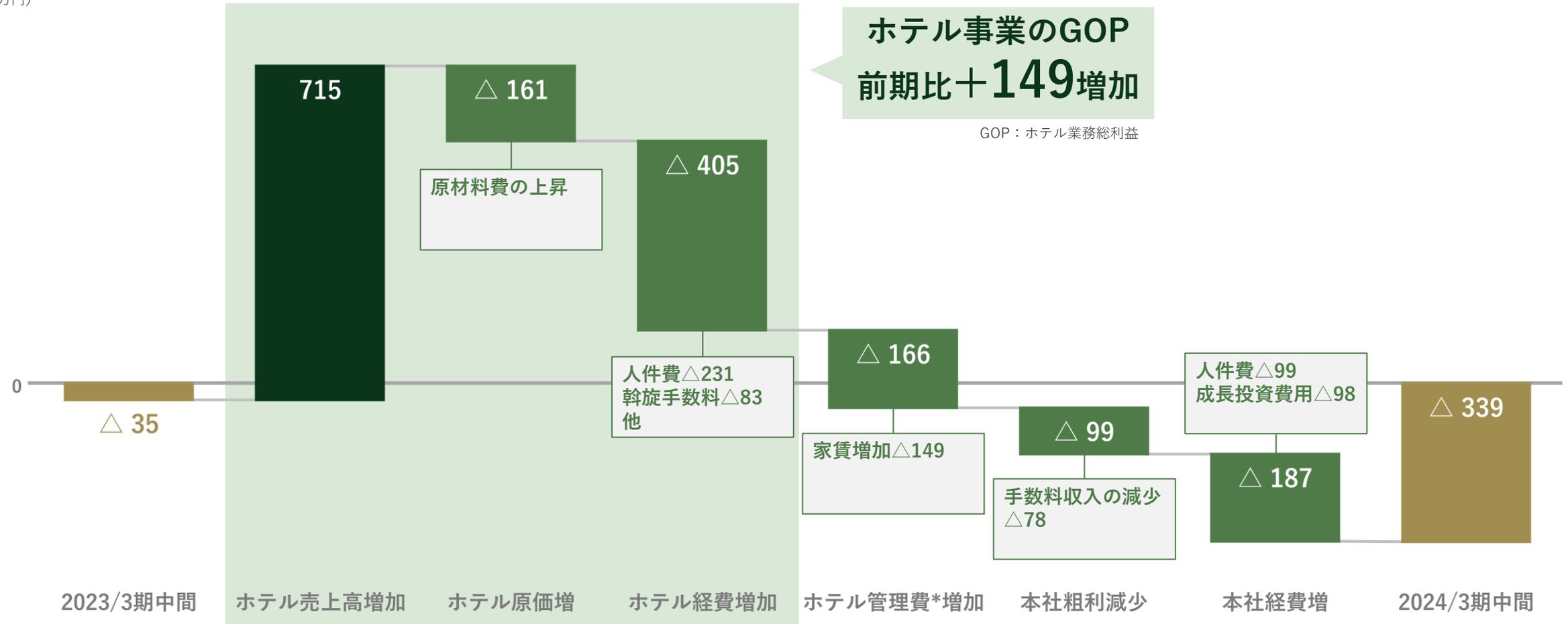
単位：百万円

	2024/3期 中間期	2025/3期 中間期	増減額	増減率 (%)
売上高	9,435	10,073	638	106.8
売上原価	1,423	1,605	182	112.8
売上総利益	8,012	8,467	455	105.7
販管費	8,048	8,807	759	109.4
営業損益	△35	△339	△304	-
営業外収益	39	31	△8	79.5
営業外費用	12	0	△12	0.0
経常損益	△7	△308	△301	-
特別利益	-	-	-	-
特別損失	72	100	28	138.9
税金等調整前中間純利益	△80	△408	△328	-
法人税等合計	0	64	64	-
親会社株主に帰属する中間純損益	△80	△473	△393	-

営業利益の増減分析

- || 人的資本の強化を目的とし、全社員のベースアップと若手住宅補助の拡充を実施。
- || ブランド再構築に係る費用、新規出店案件に係る費用、IT投資に係る費用等の先行投資的な支出も実施。

(百万円)



*ホテル管理費: 家賃、減価償却費、税金、保険料

2025年3月期第2四半期(中間期) 部門別売上高

|| 期初予想を下回ったものの需要は増加しており、宿泊、宴会、食堂売上は前年同期比増収。

|| 特に客室部門は全拠点で前年同期比増収増益。

単位：百万円

	2024/3期 中間期	2025/3期 中間期	増減額	増減率 (%)
売上高	9,435	10,073	637	6.8
客室	3,489	3,842	352	10.1
宴会	2,089	2,298	209	10.1
食堂	1,345	1,478	133	9.9
その他	2,511	2,453	△57	△2.3

2025年3月期第2四半期(中間期) 連結貸借対照表

|| 主にDX推進に係るIT投資により有形固定資産が増加。また新規出店に伴う差入保証金増加。

|| 自己資本比率は61.8%と高水準を維持。

単位：百万円

	2024/3期末	2025/3期 中間期末	増減額		2024/3期末	2025/3期 中間期末	増減額
流動資産	16,464	15,839	△625	流動負債	4,257	4,368	111
現金及び預金	12,337	12,508	171	買掛金	437	401	△36
売掛金	1,731	1,302	△429	契約負債	637	635	△2
その他	2,394	2,028	△366	賞与引当金	420	438	18
固定資産	15,103	15,380	277	その他	2,759	2,893	134
有形固定資産	965	1,094	129	固定負債	7,433	7,570	137
無形固定資産	207	181	△26	負債合計	11,690	11,939	249
投資その他の資産	13,929	14,105	176	株主資本	19,873	19,266	△607
(匿名組合出資金)	1,466	1,466	0	その他包括利益累計額	3	14	11
(差入保証金)	11,934	12,113	179	純資産合計	19,877	19,281	△596
資産合計	31,568	31,220	△348	負債純資産合計	31,568	31,220	△348

2025年3月期第2四半期(中間期) 連結キャッシュフロー計算書

|| リーガロイヤルホテル（大阪）との間で残っていた未収金の清算が進捗し、営業活動によるキャッシュフローが改善。

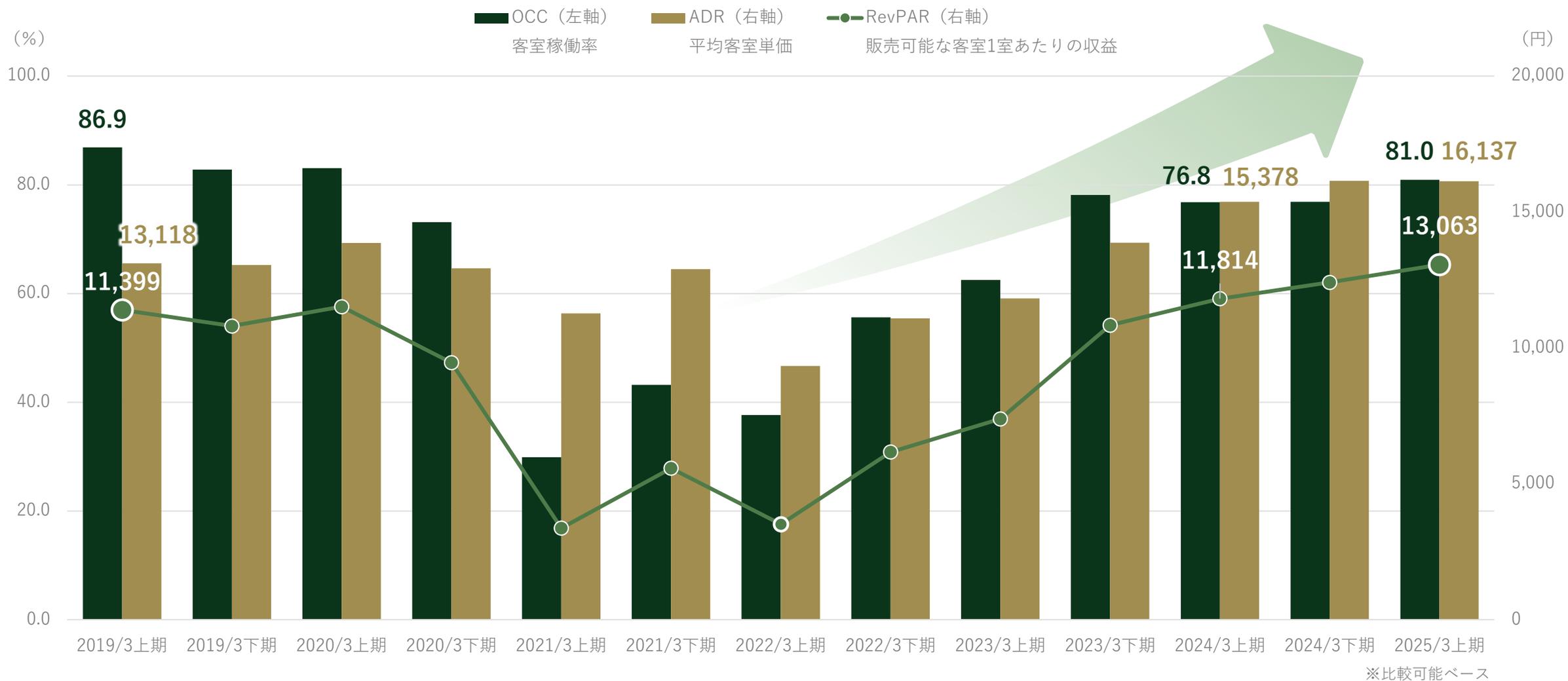
単位：百万円

	2024/3期 中間期	2025/3期 中間期	増減額	要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,660	665	3,325	・未収金の減少
投資活動によるキャッシュ・フロー	△343	△336	7	
フリーキャッシュ・フロー	△3,003	329	3,332	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△23	△158	△135	・配当金の支払い
現金及び現金同等物の期末残高	11,334	12,392	1,058	

客室稼働率・平均客室単価・RevPAR推移

|| 2024年3月期上期対比、平均客室単価および客室稼働率はともに上昇。

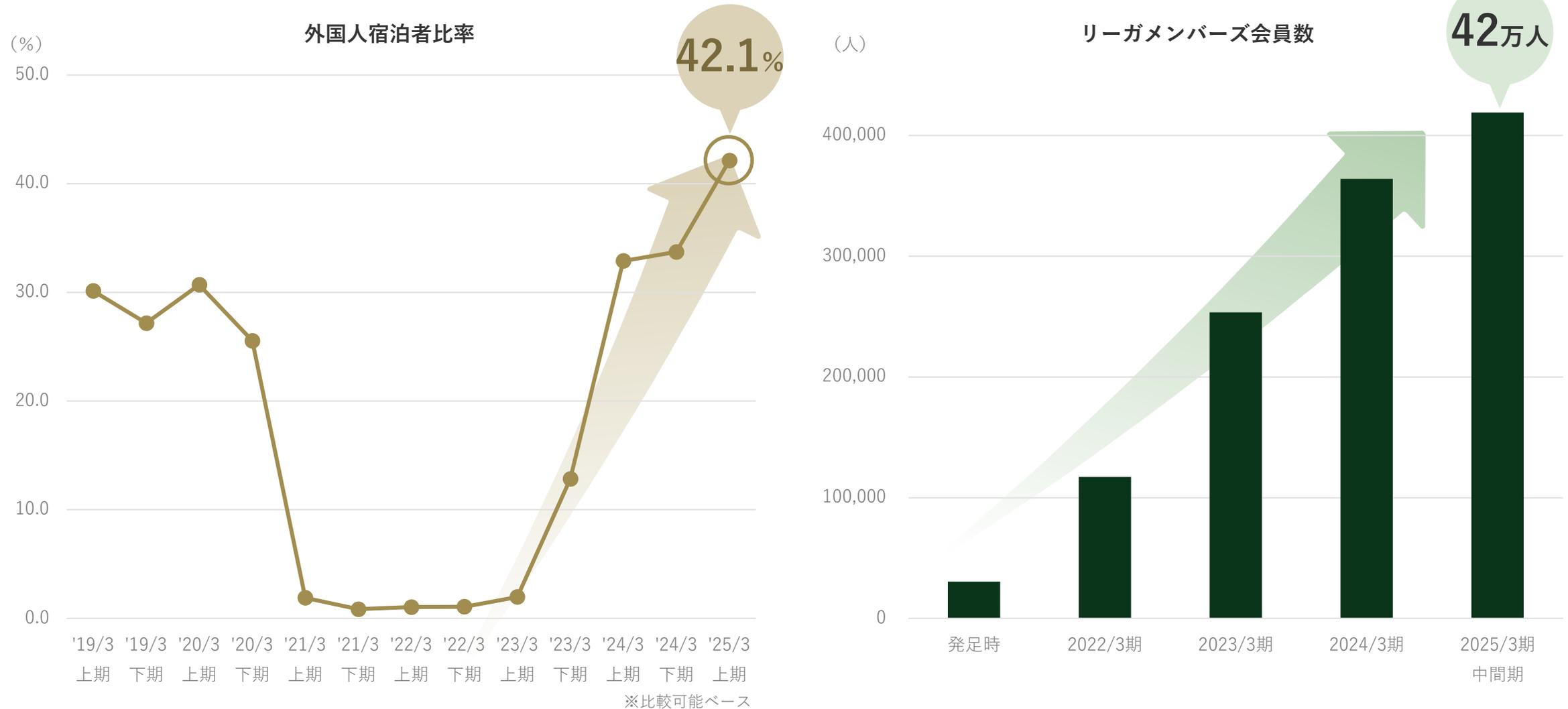
|| 販売可能な客室1室あたりの収益は緩やかに上昇傾向にあり。



外国人宿泊者比率、リーガメンバーズ会員数推移

|| 2024年9月期はインバウンド需要活況により外国人宿泊者比率は40%台へ上昇。

|| リーガメンバーズ会員は2024年11月頃に42万人を突破。



2025年3月期 業績予想

|| 現時点で期初予想に変更なし。株式会社芝パークホテルとの資本業務提携による連結業績への影響は精査中。

|| 当社業績は下期偏重型であり、足元業績は順調に推移。第3Qで黒字転換を見込む。

単位：百万円

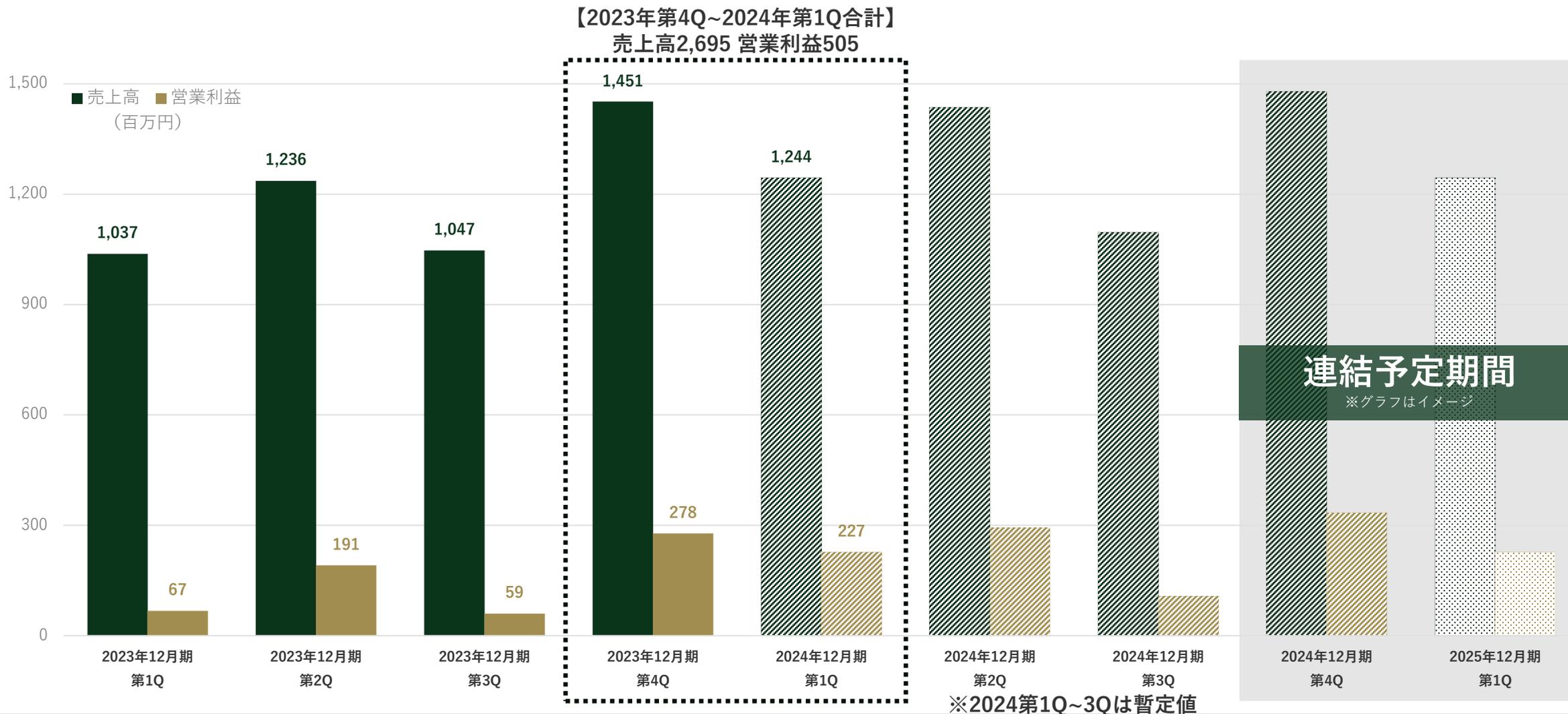
	2024/3期 実績	2025/3期 予想	前期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	20,668	23,100	2,432	11.8
営業利益	557	700	143	25.5
経常利益	587	300	△287	△49.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	901	100	△801	△88.9



【参考】株式会社芝パークホテル 直近業績(暫定値)

|| 今期（2024年12月期）はインバウンド活況であり前期業績を上回る水準で推移。

|| 2024年第4Qから2025年第1Qまでの6か月間を取込みに向けて、連結業績への影響は精査中。





2.成長投資および株主還元の拡充

2025年3月期第2四半期(中間期) 決算説明会

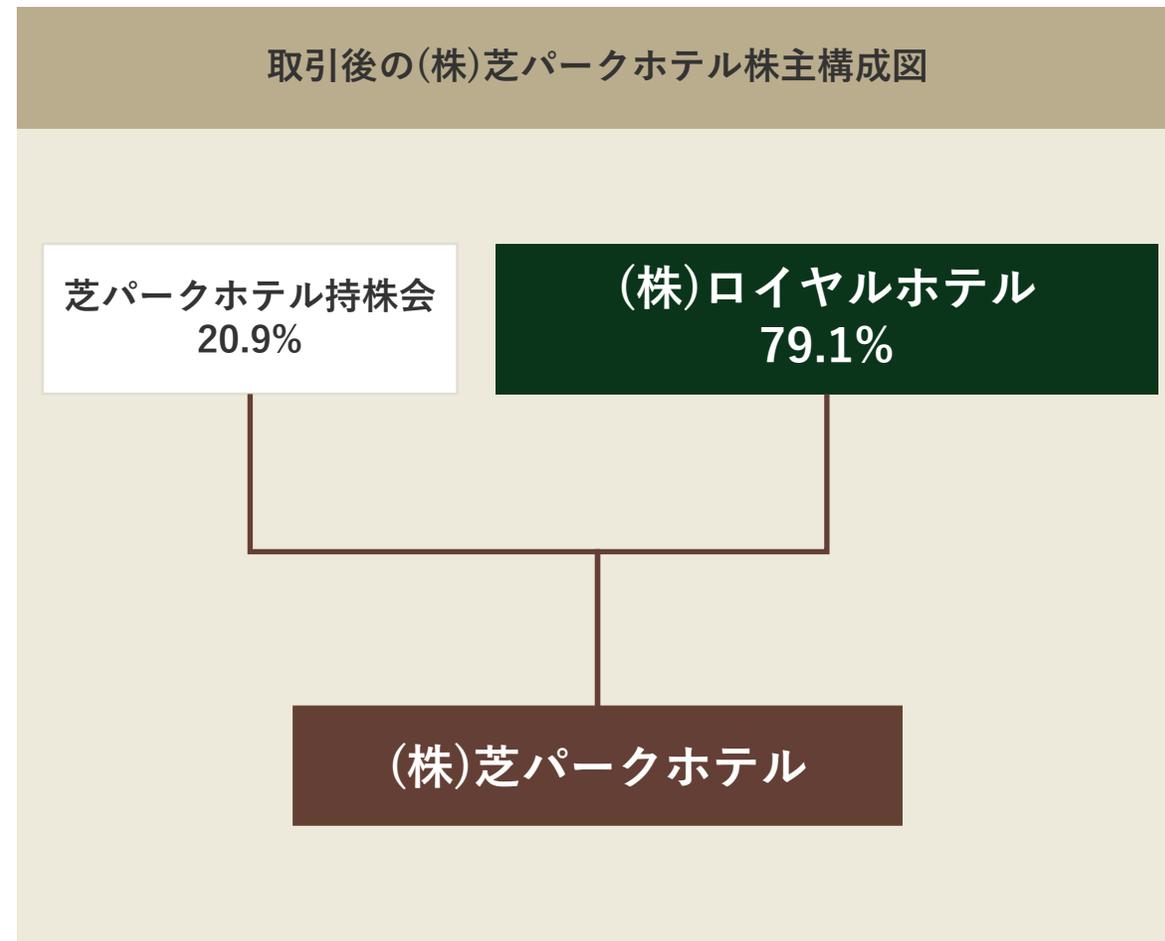
株式会社ロイヤルホテル

芝パークホテルとの資本業務提携契約の概要

- || 当社と株式会社芝パークホテルとの間で資本業務提携を締結。同時に株式を取得し子会社化。（出資比率：79.1%）
- || 足元業績は好調に推移しており、取得価額に対する直近期営業利益の割合（簡易的なROI*）は19.2%と高効率な投資。

*ROI 投資収益率 = 利益 ÷ 投資額

株式取得者	株式会社ロイヤルホテル
対象会社	株式会社芝パークホテル
取得株式数	2,829,200株（議決権所有割合：70.7%）
異動後の所有株式数	3,165,200株（議決権所有割合：79.1%）
取得価額	(株)芝パークホテル普通株式 3,041百万円 アドバイザー費用等(概算) 60百万円
資金調達	手元現預金を充当
取得予定日	2024年11月29日



株式会社芝パークホテルの概要

|| 終戦後、貿易庁（現在の経済産業省）の管理のもと外国貿易使節団ホテルとして1948年に創業。
創業70年を超える老舗ホテル経営会社。

|| 創業来、イギリスやアメリカとの現地エージェントと強固な信頼関係を築き、外国人宿泊者の比率が高い点が特徴。

概要

社名	株式会社芝パークホテル
所在地	東京都港区芝公園1丁目5番10号
創業年	1948年（昭和23年）
代表者	柳瀬 連太郎
資本金	2億2,000万円
事業内容	宿泊施設の経営、食堂・宴会場の経営、食料品の販売

沿革

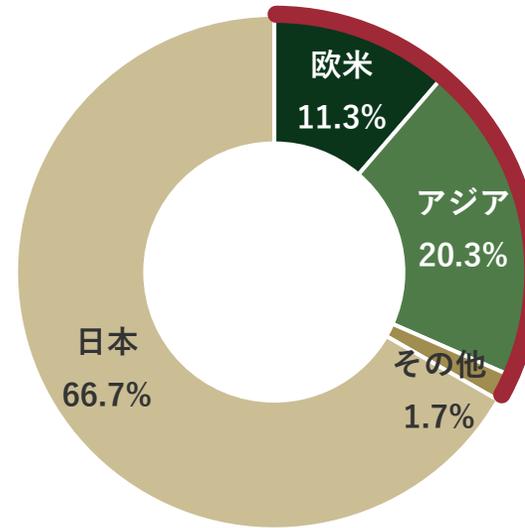
1948	「芝パークホテル」創業
1949/5	株式会社芝パークホテル設立
1960	国内ホテルで初の中国料理店をオープン
1970	帝国ホテル内に中国料理「北京」オープン
2003/9	「パークホテル東京」開業
2020	「芝パークホテル」リブランド
2021	中国料理店「京華菜 清香」オープン

宿泊客地域別構成（%）（2023年度実績）

ロイヤルホテル

外国人宿泊者比率

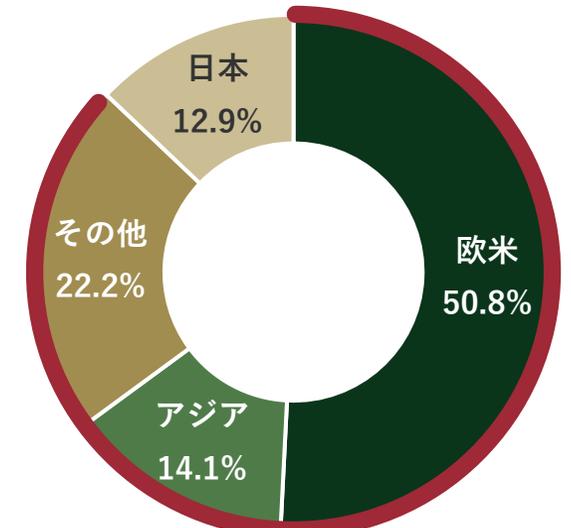
33.3%



芝パークホテル

外国人宿泊者比率

87.1%



本件により期待されること

- || インバウンド需要の取り込みと東日本での拠点充実によるグループ力の強化。新設のインバウンド事業部とも連携。
- || 顧客、エリア、ブランド、人材で相互補完が可能。



RIHGA ROYAL HOTELS

国内顧客層の厚さに強み
(リーガメンバーズ40万人)

西日本を中心とした13の
ホテルチェーン・ネットワーク

クラシカルなスタイルに加え、
新たなブランド展開推進

多様な人材 (ゼネラリスト人材)

相互補完による相乗効果が
更なる企業価値向上へつながる



Shiba
Park
Hotel

インバウンド比率87% (内欧米46.3%)
圧倒的な海外知名度

東京都心部に2つのハイクラスホテル

アートやライブラリーを特徴とする
エッジの利いたホテルブランド

インバウンド対応が得意な
オペレーション人材

顧客基盤

エリア基盤

ブランド

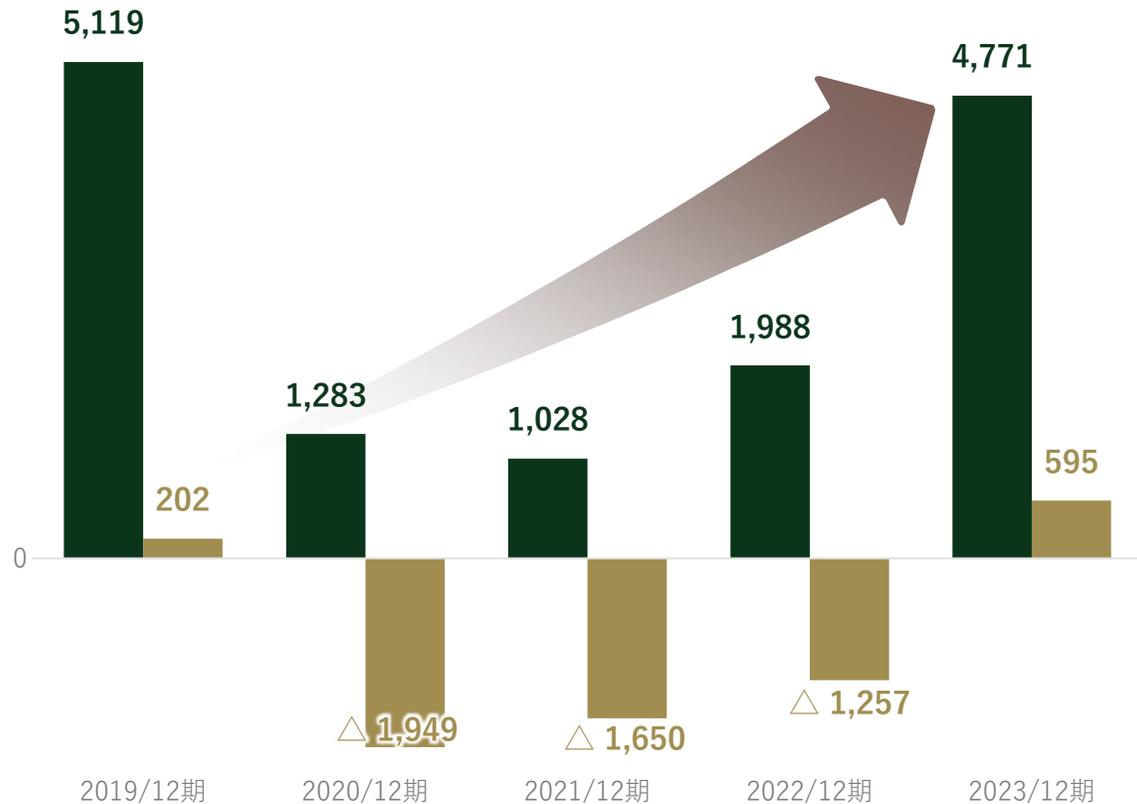
人材

株式会社芝パークホテルの概要

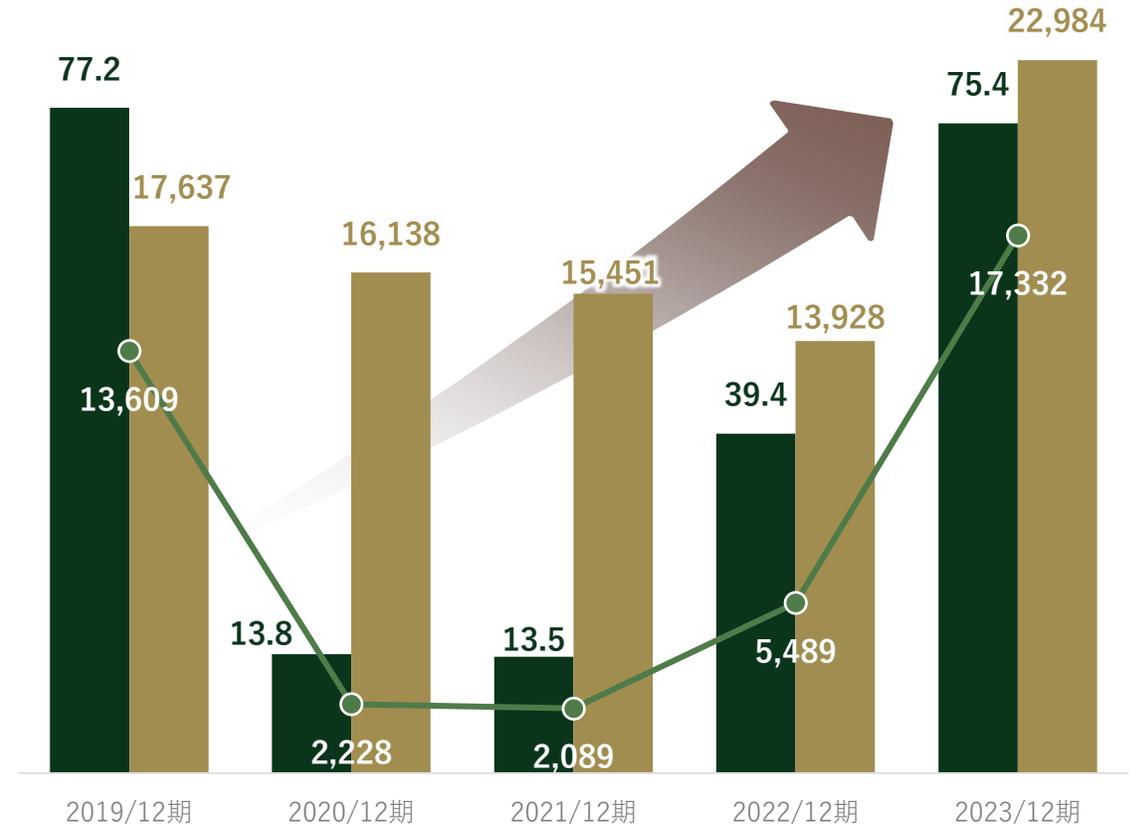
|| コロナ禍で落ち込んだ業績は2023年12月期にほぼ回復。インバウンド需要の活況により足元業績も好調。

|| ホテル業績指標もコロナ前（2019年12月期）を上回る水準。

■ 売上高 ■ 営業利益
(百万円)



■ OCC(%) ■ ADR(円) ● RevPAR(円)



両社の強みを活かし、グループホテル全体の成長と企業価値向上を目指す



関西の迎賓館として誕生

パーパス

「人を、地域を、日本を、世界を、
あたたかい心で満たしていこう。」

創業以来およそ90年に亘って築き上げてきた
サービス技術やおもてなしの精神で、
お客様により多くの感動を提供



外国からの貿易使節団を迎えるホテルとして誕生

経営理念

「人をもてなす道を究める」

高品質なサービスとグローバルなセールス力を強みとして、
海外のお客様から特に強く支持



Shiba
Park
Hotel

芝パークホテル

客室 198室

ザダイニング (オールデーダイニング)

宴会場 (4会場)

ライブラリーラウンジ



東京タワー

芝公園



増上寺



芝公園



御成門

芝公園のすぐ近くに位置し、
東京観光に絶好のロケーション



大門



浜松町

東京都港区芝公園1丁目5番10号



人、街、歴史をつなぐ
LIBRARY HOTEL



「人、街、歴史をつなぐライブラリーホテル」をコンセプトとし、ホテル館内には日本文化を軸とした1,500冊以上の書籍コレクションが並び、ゆっくりと本に浸ることのできるホテル体験を提供。



パークホテル東京

PARK HOTEL
TOKYO

客室 268室

施設 日本料理 花山椒

アートカラースダイニング (オールデイダイニング)

ザ ソサエティ (バー)



日本の美意識が体験できる 時空間



「日本の美意識が体験できる時空間」をコンセプトとし、常時400点以上の日本のアート作品を展示。まるで泊まれる美術館のようなホテル。エントランスからレストラン、全客室フロアの回廊まで、アート展示を通年で開催。

2026年から2027年、新規4軒のホテル開業計画

|| 中期経営計画2026「ReRISE」成長戦略：ドミナント出店の推進。リーガロイヤルホテルグループの国内拠点数18拠点に。

|| 大阪・福岡は新ブランドカテゴリーでの出店を予定。

リーガロイヤル リゾート沖縄北谷



2026年春頃

観光の拠点として、地域のお客様の憩いの場として、上質なおもてなしで街の新たなにぎわいを創出

メインターゲット 国内外の観光客

ブランドカテゴリー ● リゾート

大阪なんば



2026年春頃

ゆとりのあるツインルームを中心に構成し、個性的な大阪カルチャーを発信

メインターゲット 国内外の観光客

ブランドカテゴリー ● Xカテゴリー

福岡博多



2026年秋頃

「HOTEL BAR」をテーマにリラックスした雰囲気でお酒や会話を楽しみ特別な旅の時間を提供

メインターゲット 20～30代

ブランドカテゴリー ● Xカテゴリー

広島 平和大通り



2027年秋頃

大浴場・地元産品・和テーマのインテリアで上質な空間を演出

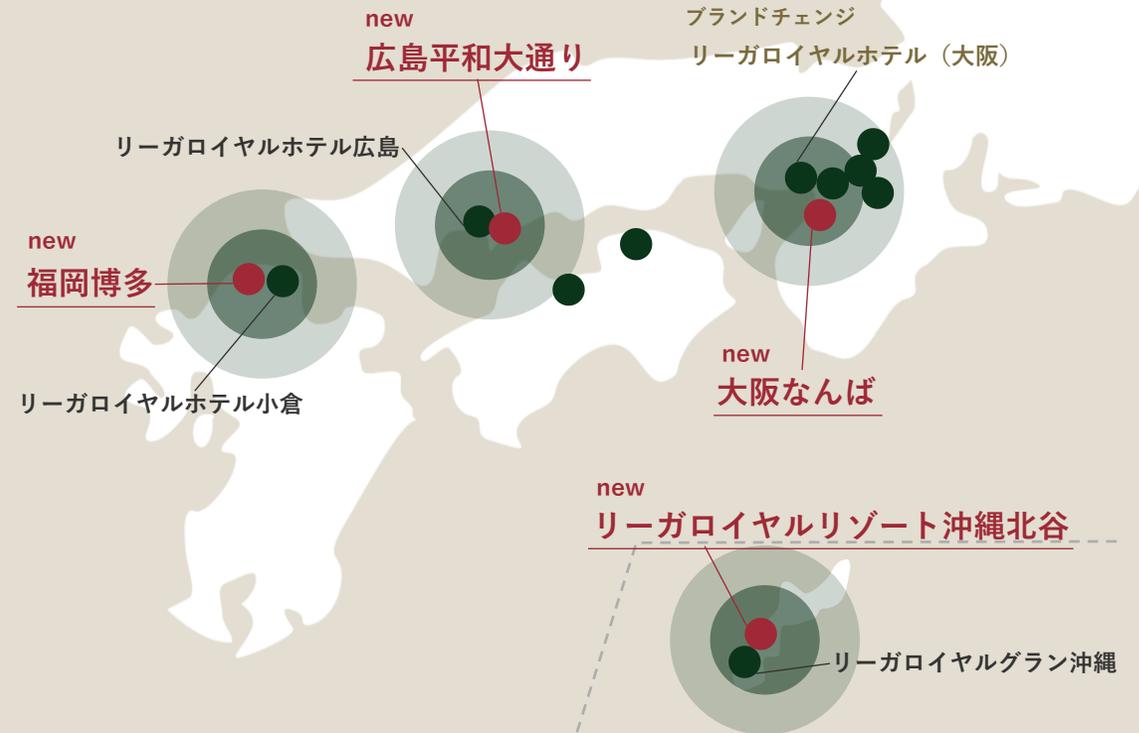
メインターゲット ビジネス・観光客

ブランドカテゴリー ● リミテッドプラス

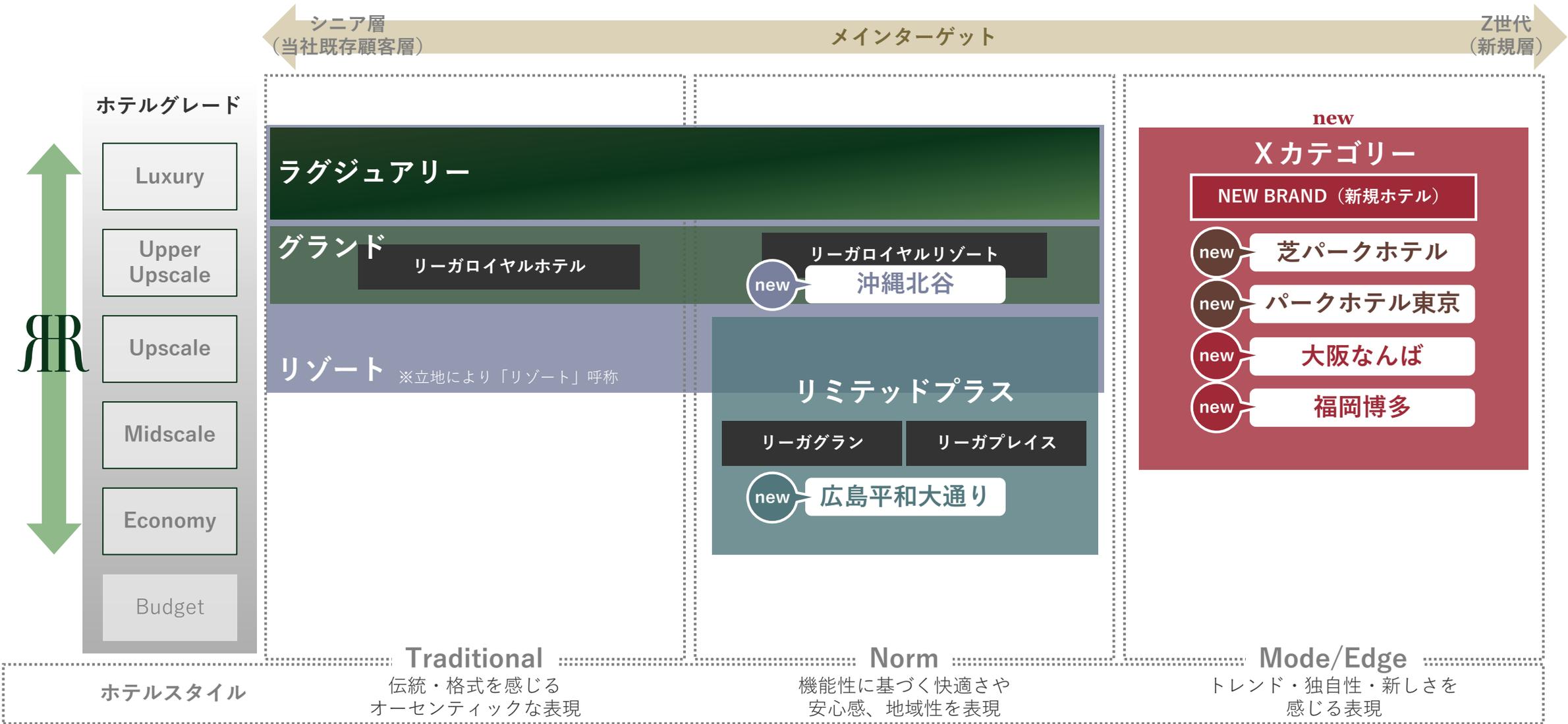
「中期経営計画2026」 ドミナント出店の推進

● 既存ホテル

● 新規出店ホテル



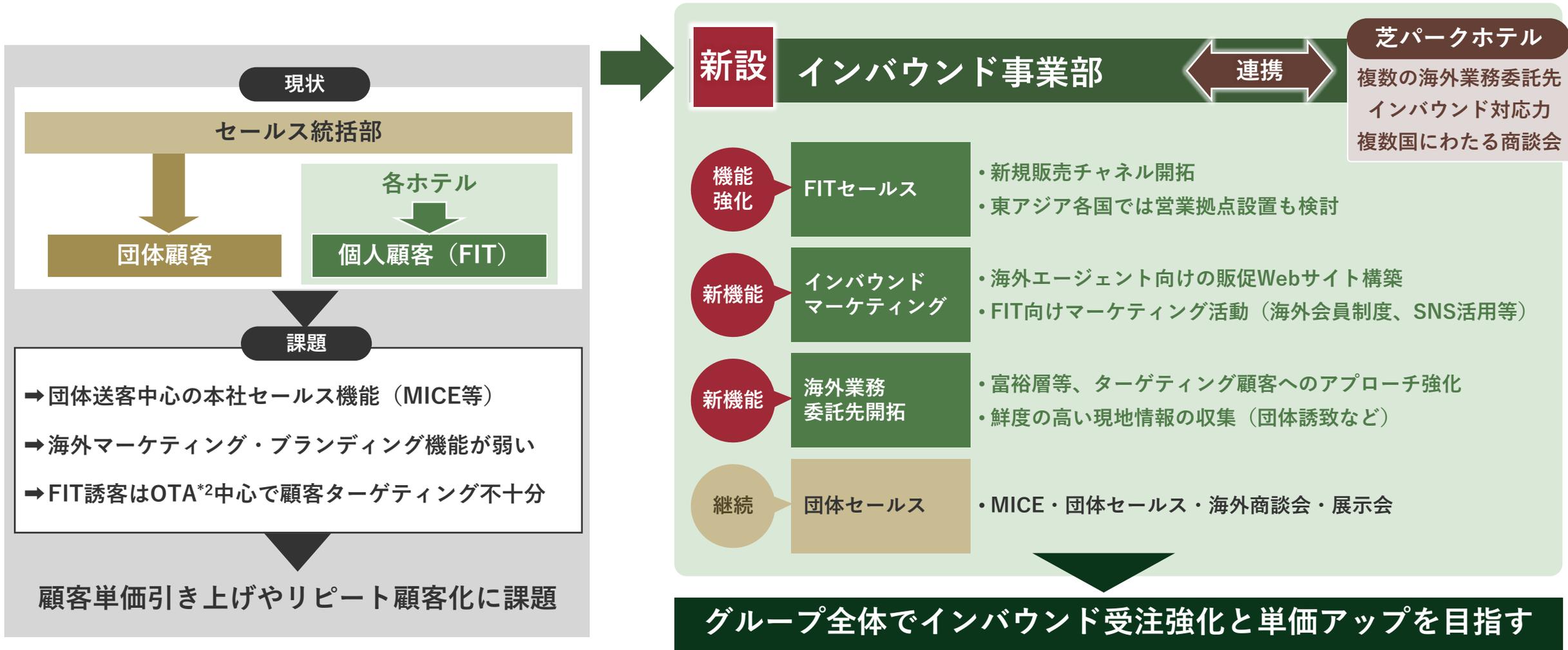
(ご参考) ブランドカテゴリー



インバウンド事業部の新設

|| FIT*1(インバウンド個人客)誘致を担う組織として、2024年12月にインバウンド事業部を新設。

|| 各ホテルの組織を一本化・増強して、インバウンド顧客の誘致強化とADRの増加を目指す。



*1 FIT : < Foreign Independent Traveler (Tour) > 団体旅行やパッケージツアーを利用しない、個人または少人数の旅行者 *2 OTA : < Online Travel Agent > インターネット上のみで旅行商品を取り扱う旅行代理店

2025 年日本国際博覧会 迎賓館運營業務委託契約締結

創業の地である大阪で開催される国際的なイベントに深く関わってきたノウハウを生かし、今回の迎賓館運營業務においても、国内外から訪れる賓客へ接遇や飲食サービスを提供し、日本全体や大阪・関西万博の魅力を届けます

当社の国際的イベント運営のあゆみ

- 1970 年 日本万国博覧会（大阪府吹田市開催）迎賓館および水上レストラン運営受託
- 1990 年 「国際花と緑の博覧会」迎賓館運営受託



1970年 日本万国博覧会 迎賓館でのサービスの様子

迎賓館 | 世界各国から国王、大統領、首相などの賓客をお迎えし、歓迎、接遇するための施設

最優秀提案事業者の選定理由（公益社団法人2025年日本国際博覧会協会）

- ・ 万博への思い入れと、大阪・関西万博のおもてなし事業を絶対に請け負うという気概を感じた。
- ・ 日本の各地で幅広く展開しているホテルで培ったノウハウを活用した世界の賓客への心温まる接客を期待できるとともに、関西、大阪の色をだした、「おもてなし」を出来る提案であった。
- ・ 迎賓館運営のポイントである、食事提供についても具体性が高く、多くの工夫が期待できる。

経済産業省が定める「DX認定事業者」に認定

|| 中期経営計画2026「ReRISE」成長戦略：DXを活用した経営効率・オペレーション効率の改善



AIを有効活用する新規PMS導入に向けた
基盤づくり

DX人材の育成を推進

2023年12月
DX推進室を発足

『デジタル技術をいかに活用し、お客様や社内に新たな価値を提供するか』

2019年～ デジタライゼーション推進

業務プロセスの横断的デジタル化や効率化

顧客とのコミュニケーション促進

社内
管理部門への
RPA 導入

ホテル
運営部門の
システム更改

社内
ポータルサイト

人事システム

CRM 顧客管理
システム

ブライダル
お客様用サイト

レストラン
POSシステム

ホテル製品
ECサイト

株主還元強化 | 株主優待制度の充実

- || 長期株式保有者に対するインセンティブ制度として、リーガポイント付与制度の新設（年1回付与/有効期限1年）。
- || 実店舗での利用に限られ、利用率の低かった優待割引券の配布枚数を見直し。
- || リーガポイントはオンラインショップでも利用可能。
実店舗のご利用が叶わないお客様もホテル伝統の味をご家庭でお楽しみいただけます。

新設

優待内容 保有株式数	株主優待券（枚）			リーガポイント（ポイント）	
	宿泊	料飲	婚礼	保有期間3年未満	保有期間3年以上
100～199株	10	6	2	—	—
200～499株	15	9	3	—	—
500～999株	15	9	3	5,000	7,000
1,000株～	20～	12～	4～	10,000	12,000

*1冊セット（宿泊15%割引券×5枚、料飲20%割引券×3枚、婚礼8%割引券×1枚）

株主優待制度の充実により当社株式の魅力高め、
流動株比率の向上とファン株主の増加を期待



3. 中期経営計画の進捗状況

2025年3月期第2四半期(中間期) 決算説明会

株式会社ロイヤルホテル

中期経営計画2026「ReRISE」の位置づけ

|| 来たるべきホテル開業100周年にあたり、「RIHGA VISION 2035」を策定し、持続的成長を目指す。

|| 今期から3年間は「RIHGA VISION 2035」の実現に向け、経営基盤・事業基盤の強靱化を行う「ReRISE」期と位置付け、中期経営計画2026を推進する。

RIHGA VISION 2035



中期経営計画2026「ReRISE」

戦略1

ホテルブランドカテゴリーの再編成・新規展開

芝パークホテル資本業務提携

新規4軒開業計画

インバウンド事業部の新設

DX認定

大阪・関西万博 迎賓館運営業務委託

戦略2

ホテル事業のバリューアップ

芝パークホテル資本業務提携

新規4軒開業計画

インバウンド事業部の新設

DX認定

大阪・関西万博 迎賓館運営業務委託

戦略3

インオーガニックな成長も視野に入れた新規出店パイプラインの拡大

芝パークホテル資本業務提携

新規4軒開業計画

インバウンド事業部の新設

DX認定

大阪・関西万博 迎賓館運営業務委託

資本コストや株価を意識した経営

流動株比率の向上とファン株主の増加



株主優待制度の充実



4. Appendix

2025年3月期第2四半期(中間期) 決算説明会

株式会社ロイヤルホテル

パーパス

人を、地域を、日本を、世界を、
あたたかい心で満たしていこう。

RIHGA VISION 2035

安心のサービスと感動のおもてなしで世界中のお客さまの期待を超える
日本最高峰のホテルグループ

信頼と期待

時代を超えて「受け継ぐ価値」

あたたかいおもてなし

美味しい料理

心地よい空間

時代と共に「進化していく価値」

利便性の向上

多様性の尊重

安心安全の追求

マーケットの見通しと当社の展開

|| インバウンド需要を中心に国内マーケットの活況が見込まれ、各地で国際的なイベントの開催や注目施設の開業も予定。

2025年4月
リーガロイヤルホテル大阪
ヴィニェット コレクション
開業予定



2024年11月
芝パークホテル・パークホテル東京
グループ化



2026年春
リーガロイヤル
リゾート沖縄北谷
開業予定



2026年春
大阪なんば
(名称未定)
開業予定



2026年秋
福岡博多
(名称未定)
開業予定



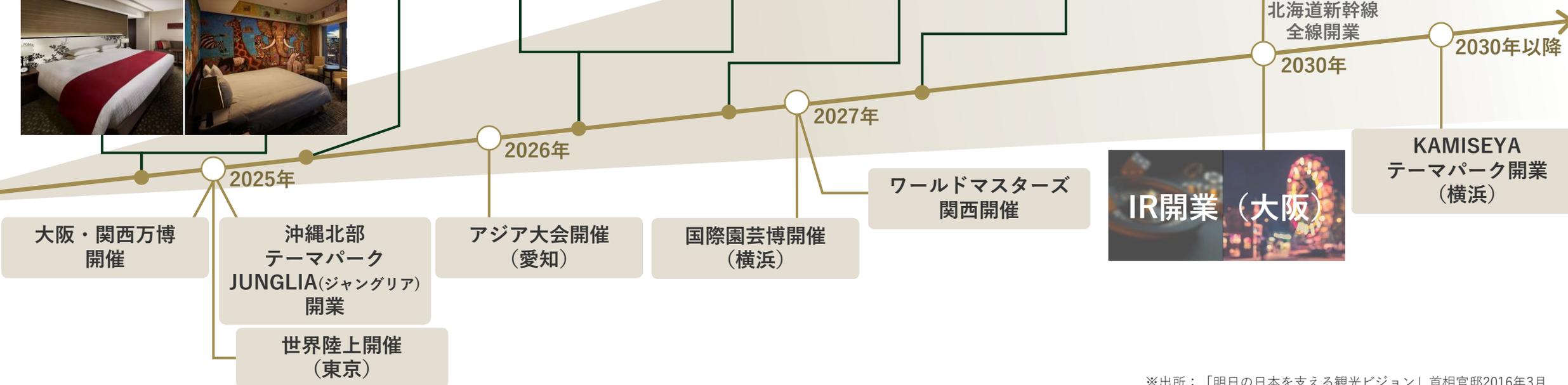
2027年秋
広島平和大通り
(名称未定)
開業予定



訪日外国人観光客※
2030年
6,000万人目標

(参考)

2023年	2,506万人
2022年	383万人
2019年 (コロナ前)	3,188万人



KAMISEYA
テーマパーク開業
(横浜)

※出所：「明日の日本を支える観光ビジョン」首相官邸2016年3月

|| サステナビリティ委員会を設置し、直接経営に反映できる体制を整備

事業活動を通じた 環境保全への取組

- ・ 脱プラスチック
(リサイクル、リデュース)
- ・ 節水・省電力機器への転換
- ・ エコ清掃の呼びかけ
- ・ 食材ロスの削減



DE&I※を軸とした 働きやすい・ 働きがいのある 環境づくり

- ・ 女性活躍の推進
- ・ 育児・介護休業取得の推進
- ・ 健康戦略MAPに基づく施策の推進
- ・ 学習機会支援
- ・ 多様性の推進



※DE&I (ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン) : 「ダイバーシティ&インクルージョン」 + 「公平/公正性 (Equity)」

地域社会と積極的に関わり、 地域の魅力を発信

- ・ 地域催事への協力
- ・ 周辺清掃活動
- ・ 地元製品の提供
- ・ 中高生への学習提供
- ・ 周辺施設との提携



「安心・安全」を守る 組織づくりの推進

- ・ 取締役の多様性担保
- ・ コンプライアンス研修の実施
- ・ 自然災害への備え
- ・ バリアフリーの推進
- ・ 人権ポリシーの策定
- ・ 食の安全への取り組み





RIHGA ROYAL HOTELS

社名	株式会社ロイヤルホテル
本社所在地	大阪府大阪市北区中之島5丁目3番68号
創立年月	1932年（昭和7年） 2月
開業年月	1935年（昭和10年） 1月
代表取締役社長	植田 文一
資本金	1億円
発行済株式総数	15,303,369株（東証スタンダード上場）
従業員数（連結）	1,726名（2024年3月31日時点）
事業内容	宿泊施設の経営、食堂・宴会場の経営、スポーツ設備の運営、食料品の販売

|| 国賓をはじめ国内外のお客様をお迎えするホテルとして誕生。

|| 2023年にはホテル運営に特化した企業として新たなスタートを切り、2035年には創立100周年を迎えます。

1932.2 株式会社新大阪ホテル創立

1935.1 新大阪ホテル開業 (1973年閉鎖)

1959 都市センターホテル開業

1965 リーガロイヤルホテル (大阪) 開業
(旧大阪ロイヤルホテル)

1969 リーガロイヤルホテル京都 (旧京都グランドホテル) 開業

1973 リーガロイヤルホテル (大阪) 新館開業

1981 リーガプレイス肥後橋 (旧中之島イン) 開業

1990 リーガロイヤルホテルグループに改称
リーガロイヤルホテル新居浜開業

1992 リーガホテルゼスト高松営業開始

1993 リーガロイヤルホテル小倉開業

1994 リーガロイヤルホテル広島開業
リーガロイヤルホテル東京 (旧リーガロイヤルホテル早稲田) 開業

2012 リーガロイヤルグラン沖縄開業

2020 リーガグラン京都開業

2022 リーガロイヤル・ラグーナ・グアム・リゾート開業

2023 リーガプレイス京都四条烏丸開業

2023 ホテル運営に特化し、新たなスタートを切る

終戦	1945
東京オリンピック 新幹線開通	1964
大阪万博	1970
新元号「平成」	1989
阪神淡路大震災	1995
アメリカ同時多発テロ	2001
リーマンショック	2008
東日本大震災	2011
新元号「令和」	2019



BGOとの戦略的資本業務提携

- || ベントール・グリーンオーク社（以下、「BGO」という）を不動産売却先、且つ戦略的資本業務提携先として選定
- || 「創業の地である中之島で、将来に亘ってホテル運営を続ける」という当社の想いを叶える提案内容が決め手



*IHG：インターコンチネンタルホテルズグループ

BGO
(多店舗展開のパートナー)

パイプライン契約



アセット投資

優先的に

オペレーター契約を検討

ロイヤルホテル



当社が長い歴史の中で培ってきたホテルオペレーターとしてのブランド及び運営ノウハウを評価。

BGO

- カナダ大手生命保険会社グループSun Life Financial 傘下の、不動産プライベート・エクイティファンド運営会社
- 2023年6月末現在、世界28拠点、運用総資産約830億米ドル（約12兆円）
- 日本国内の不動産関連投資実績8,000億円程度。今後3,000億円超のホテルアセット投資を計画

IHG
(RRH大阪のパートナー)

共同運営



RIHGA ROYAL HOTEL

リーガロイヤルホテル（大阪）

2025年3月リニューアル完了

NIGNETTE™
COLLECTION

IHGのラグジュアリーカテゴリの中のコレクションブランド

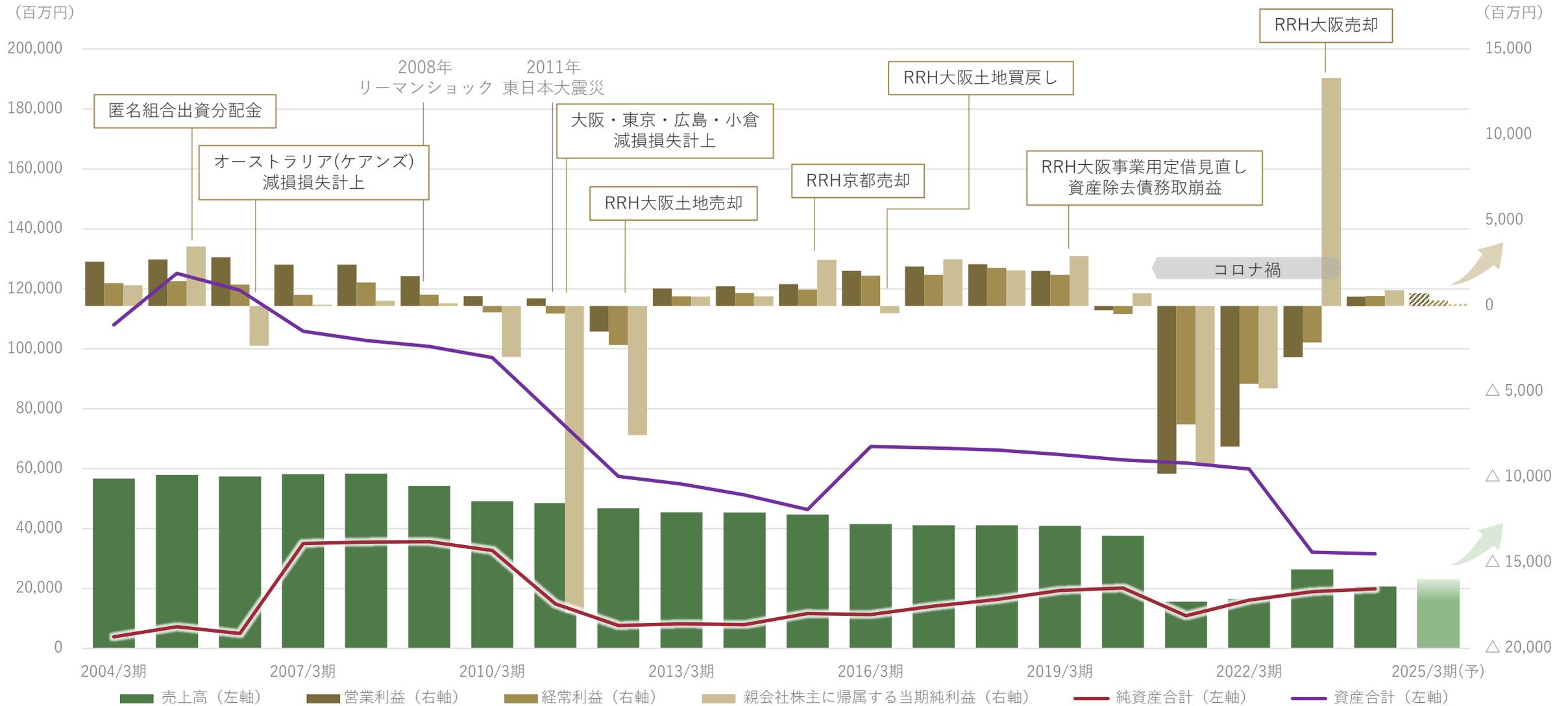
ロイヤルホテル

IHG
HOTELS & RESORTS

当社のアイデンティティを体現した旗艦ホテルであるリーガロイヤルホテル（大阪）の歴史と伝統を評価。

IHG

- インターコンチネンタルホテルズグループ
- イギリスに本部を置き、19ホテルブランドで世界100か国以上、6,000軒以上のホテルを展開する世界的なホテルグループ



株価推移



※2017/9/26以前、株価・出来高調整済

単位：百万円

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
売上高	41,076	40,884	37,601	15,638	16,465	26,397	20,668
客室	10,225	10,255	9,492	3,856	4,264	8,410	7,153
宴会	14,057	14,039	12,507	3,131	4,285	8,082	4,689
食堂	8,587	8,942	8,398	3,773	3,543	5,196	2,901
その他	8,206	7,646	7,202	4,876	4,371	4,709	5,675
売上総利益	30,792	30,532	28,188	11,633	12,470	20,675	17,059
販売費及び一般管理費	28,349	28,485	28,445	21,427	20,688	23,661	16,501
営業利益	2,442	2,047	△257	△9,794	△8,217	△2,986	557
経常利益	2,220	1,816	△465	△6,916	△4,550	△2,129	587
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,079	2,908	727	△9,334	△4,811	13,315	901
1株当たり当期純利益（円）	203.02	283.97	71.02	△911.34	△469.73	1,252.77	55.30
配当金（円）	—	—	—	—	—	—	—
自己資本当期純利益率（％）	13.7	16.3	3.7	△60.2	△35.7	76.0	4.6
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,379	3,790	1,087	△3,979	△4,100	81	△1,624
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,765	160	△1,590	△1,319	△1,128	53,419	△478
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,316	△2,096	△1,515	7,482	4,033	△42,698	△36
現金及び現金同等物の期末残高	2,735	4,589	2,570	4,754	3,559	14,361	12,221
従業員数（名）	2,038	2,049	2,036	2,059	1,832	1,678	1,726

単位：百万円

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
流動資産	7,173	8,397	4,919	7,260	5,922	17,305	16,464
現金及び預金	2,737	4,591	2,572	4,756	3,561	14,363	12,337
固定資産	59,034	56,300	57,971	54,607	53,998	14,799	15,103
有形固定資産	44,665	42,869	42,991	42,159	41,452	812	965
無形固定資産	179	281	201	191	303	266	207
投資その他の資産	14,189	13,149	14,778	12,256	12,241	13,720	13,929
資産合計	66,207	64,698	62,890	61,867	59,920	32,105	31,568
流動負債	7,859	7,417	6,379	40,098	8,711	5,387	4,257
短期借入金	1,615	1,567	2,010	35,058	5,400	—	—
固定負債	41,989	37,938	36,326	10,872	35,120	7,774	7,433
長期借入金	30,235	28,668	27,158	2,000	26,400	—	—
リース負債	458	262	271	139	87	38	38
負債合計	49,848	45,355	42,705	50,970	43,832	13,162	11,691
株主資本	16,660	19,568	20,295	10,961	16,149	18,972	19,873
その他包括利益累計額	△337	△300	△163	△64	△61	△29	3
純資産合計	16,358	19,343	20,184	10,896	16,088	18,942	19,877
負債純資産合計	66,207	64,698	62,890	61,867	59,920	32,105	31,568
1株当たり純資産（円）	129.10	416.71	501.13	△400.67	△870.09	829.40	890.58
自己資本比率（％）	24.7	29.8	32.0	17.6	26.8	59.0	63.0

お問い合わせ先

株式会社ロイヤルホテル

経営企画部

email : rh.ir@rihga.co.jp

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現在における入手可能な情報に基づき当社が判断した内容であり、潜在的リスクおよび不確実性が含まれます。このため、様々な要因の変化によって、実際の業績等は記述されている内容と大きく異なる可能性がありますのでご了承ください。



RIHGA ROYAL HOTELS

2025年3月期第2四半期(中間期) 決算説明会

2024年11月29日

株式会社ロイヤルホテル

証券コード | 9713